



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっくい&おおむちゃん

市制100周年に向けて

大正7年(1918)の4月1日に誕生した大垣市は、平成30年に市制100周年を迎えます。

市は、この節目の年を、新たな未来に向かって飛躍・発展する契機とし、大垣の魅力を広く発信するため、市民協働で記念事業に取り組む「大垣市制100周年記念事業実行委員会」を設立しました。

今回紹介する事業のほか、「おおがきの歌」の制作など、今後さまざまな取り組みを進めていきます。

詳しくは、同実行委員会(まちづくり推進課内、☎47-8547)へ。

市制100周年シンボルマークが決定!

市は、市制100周年を広くPRするため2月1日から3月31日までシンボルマークデザインを募集しました。

その結果、市内外から2,119点の応募があり、選考会を経て右の作品がシンボルマークに決定しました。



大垣市制100周年

このデザインを考案したのは、山県市在住の高瀬清二さん。『水の都・大垣』の象徴である豊かな水を、色や形で表すとともに、100の数字の上部のみを印象的に配置し、0の線を徐々に太くすることで未来へと発展していく様子を表現しました。』との思いが込められています。

同マークは、市制100周年を記念して実施される各種事業などのPRに活用していきます。

フレンドリーシティ合唱の夕べを開催

同実行委員会は、市制100周年イベントとして「フレンドリーシティ合唱の夕べ」を催します。



「ISing」

- ◆とき/6月2日(金) 午後6時~8時30分
- ◆ところ/スイトピアセンター音楽堂
- ◆内容/本市とフレンドリーシティであるアメリカ合衆国・ビーバートン市の市民合唱団「ISing」などによるコンサート、「音楽を活かしたまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションなど
- ◆申込/まちづくり推進課(職員会館2階、☎47-8547)にて整理券を配布

新緑のGW 各地でイベントを開催



新緑あざやかなGW(ゴールデンウィーク)の期間中、市内各所で、自然に親しむさまざまなイベントが行われました。

大垣公園では4月29・30日の両日、「花と緑のふれあい展」を開催。苗木やカブトムシの幼虫の配布、ガーデニング講習会など多彩な催しが行われました。岐阜県立大垣養老高等学校による花壇の展示=写真上=では、色とりどりに飾られた花々にたくさんの子どもたちや家族連れらが見入っていました。

また、4月29日には、入方2丁目地内の農地で「カミツレまつり」が、5月3日には、赤坂スポーツ公園で「赤坂東藤まつり」などが開催され、訪れた人たちは見ごろを迎えた花を鑑賞しながら、休日を楽しんでいました。



見ごろのフジを楽しむ親子

5月15日号 主な内容

- ▶市役所の事務室・駐車場の一部変更、エコなくらしの補助制度など...2~3P
- ▶看護師・助産師の募集、障がい者サポーター研修会など...4~5P
- ▶催しのお知らせ、子育て情報など...6~7P
- ▶かがやき出前講座、市民伝言板など...8~9P
- ▶健康ガイド...10~11P
- ▶守屋多々志美術館第66回企画展、水防工法大会、環境市民フェスティバルなど...12P

今後治水や地震への対策をはじめ、ICTを活用した防災情報の提供など、災害に強い安全なまちづくりを進めてまいります。

南東から見た新庁舎のイメージ



また、ICTを力を入れている本市では、県内で初めてファーストメディア社と協定を結び、防災アプリの配信をスタートしました。

一方、地震対策について、本市では、小中学校の耐震化・改築を完了させており、今年、日新幼稚園が新たに完成しました。今後は、三城保育園、荒崎幼稚園などの建設を行います。

そして、現在、新庁舎の建設を進めており、今年、現本庁舎北側の一部分を解体し、来年には、液状化対策などの地盤改良を行い、3年後には、新庁舎が完成する予定です。災害発生時に、復旧や復興の拠点として、災害対策本部となる免震構造の強固な新庁舎を建設します。

災害に備えて



市長のなごみメール 大垣市長 小川 敏